

クラウドファンディング実施中 DPATカーにご支援を！！



災害時、被災地に48時間以内に
駆けつけるDPAT
その移動基地となるDPATカー



<https://readyfor.jp/projects/DPAT>

目標金額

500万円

3段階で目標を設定。750万円まで目指します！



2019年11月29日（金）23時まで 寄付を受け付けています。

東日本大震災をきっかけに、災害後の「こころのケア」のため、精神科医師、看護師、薬剤師など多職種による災害派遣精神医療チーム「DPAT(ディーパット)」が結成されました。

しかし、新しい取り組みであるために国からの予算が少なく、支援の際は「レンタカー」で被災地まで向かっています。そこで私たち**筑波大学附属病院DPAT**は、交通事情や通信手段、ライフラインの障害があっても**被災地でこころのケアを可能にする特殊救急車両「DPATカー」**の導入を目指し、クラウドファンディングを行うことにしました。

DPATカー購入費用の応援を、どうぞよろしくお願い致します。

ご寄付の受け付けは、クラウドファンディングサイトReadyforにて行なっております。

<https://readyfor.jp/projects/DPAT>

クレジットカード、または銀行振込にてご寄付ください。

【対応クレジットカード】



500
万円達成

・DPAT専用車の購入

レンタカーを借りずとも
すぐに駆けつけられるように



まずは、最低限、レンタカーを使用せずにすぐ現場に駆けつけることができるよう、DPAT専用車の購入を目指します。

600
万円達成

・全面特殊塗装
・赤色灯を設置

一目でDPATとわかり
声をかけやすいように



全面特殊塗装をし、赤色灯を設置し、一目でDPATカーとわかるように。不安定な道も安定して進めるスタッドレスタイヤも購入します。

750
万円達成

・衛星電話やアンテナを設置
・大型バッテリーを設置
・簡易面接室の設置

移動基地として
カウンセリングもでき
るように



衛星電話やアンテナなど、災害時に必要となる機能を搭載。移動基地として対応できるように、大型のサブバッテリーと、カウンセリングできる簡易面接室も設置。

*本プロジェクトへの寄付は、筑波大学への寄付扱いとなり、税制上の優遇が対象となります。控除を受けるためには、原則、寄付を行った翌年の所定の時期に確定申告を行なっていただく必要があります。

*期間内に第一目標額の500万円に達しなかった場合、ご寄付いただいた寄付金は全額、寄付者様に返金されます。

<お問い合わせ>

筑波大学附属病院

災害・地域精神医学研究センター 事務局

☎ 029-853-3057

email dcpych@md.tsukuba.ac.jp



<https://readyfor.jp/projects/DPAT>

DPAT レディーフォー

